

## 学生による授業評価 『平成 28 年度授業改善アンケート結果報告』

川崎医療短期大学 FD・SD 委員会

本学では、平成 21 年度から「学生による授業評価」を組織的、継続的に取り組んでいる。授業評価の目的は、各教員が授業方法の改善点を見出すとともに、大学教育の質的向上を図ることにある。そのために、授業に関する自己点検・評価活動を継続し、FD 活動を展開している。

本学の授業評価活動は、平成 25 年度から中期授業評価計画に基づき実施している。平成 28 年度は「授業・演習科目」の授業評価を学期別（前期・後期）に実施した。実施科目は、専任および非常勤講師が担当する授業科目とし、前期・後期それぞれ 1 科目ずつ授業評価を受けた。

アンケートの調査内容は、1) 学生の自己評価（4 項目）、2) 授業の基礎的な事項（4 項目）、3) 学習の推進に関する事項（3 項目）、4) 総合評価（2 項目）の計 13 項目とした。回答は、「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」「どちらでもない」「ややそう思う」「とてもそう思う」の 5 段階評価とした。学生には Web（moodle）でアンケートに回答してもらい、自由記述による授業への意見・要望も求めた。調査結果に基づいて、各教員は科目ごとの「教員による自己点検報告書」を提出した。

ここでは、以下のとおり全体の集計結果について報告する。

平成 28 年度 授業評価結果集計表

大項目	質問項目	前期	後期
I 学生の自己評価	1) 私は、シラバスの内容（到達目標、授業内容、評価方法）を理解している。	4.1	4.2
	2) 私は、この授業中、マナー（携帯電話、私語、いねむり、遅刻、早退をしない）を守った。	4.3	4.4
	3) 私は、授業に意欲的に取り組んだ。	4.3	4.3
	4) 私は、授業外学習（予習、復習を含む）をした。	3.8	3.8
II 授業の基礎的な事項	5) 教員は、授業のテーマや到達目標、内容、評価方法等を予め明確に示した。	4.3	4.4
	6) この授業は、シラバス（到達目標、授業内容）に基づいて行われた。	4.4	4.4
	7) 教員は、時間割に沿って授業を行った（休講、変更をあまりしない）。	4.5	4.5
	8) 教員は、学生が授業に集中できる環境を整える努力をしていた。	4.3	4.3
III 学習の推進に関する事項	9) 教員は、学生が興味を持てるよう授業内容や方法を工夫していた。	4.3	4.3
	10) 教員の板書や配付資料、視聴覚機器等の教育器材の使用によって理解が深まった。	4.3	4.3
	11) 教員は、授業を適切な進度で行った。	4.4	4.4
IV 総合評価	12) 私は、シラバスで求められた到達目標をほぼ達成できた。	4.1	4.2
	13) 私は、総合的にこの授業に満足している。	4.3	4.3